

第13号

1989年 1月15日発行
 社会福祉法人 友愛会
 大島保育所
 大島福祉学園
 友愛園
 南川福祉学園
 題字 理事長 角野永宗

清海



こたつを囲んでのだんらん (友愛園)

ゆきんこさん

ゆきんこさん
 ふわふわ舞い降りて
 とても楽しそう はずんでる
 みんなにささやきかけながら
 いっぱい
 いっぱいやって来た

誘われて
 私も外に出たいけど
 寒さに弱くて 動けない……
 ちよつと淋しいけど
 遊びに行けない

ごめんね ゆきんこさん

島 邑 三智子
 (友愛園)

ごあいさつ

社会福祉法人 友愛会

理事長 角野 永宗



新年あけまして、おめでとうございます。

希望に満ちあふれた、すがすがしい新春を迎え、皆様方のご健勝とご繁栄を心よりお喜び申し上げます。

昨年は、友愛会施設運営におきまして、皆様方の絶大なご支援ご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

今日、成熟化社会を迎え、社会福祉をとりまく環境は更に厳しさを増すことが予想されます。

昨年は、社会福祉施設等における防火安全対策の強化を図るため、初期消火対策のスプリンクラー設

備の整備、火災発生時の早期通報・連絡の非常通報装置の設置、また火災発生時の未然防止として`寝具類等の防災化の促進に努める等、防火管理体制の整備を図ってまいりました。しかし、夜間における所要配置人員・勤務形態・万一火災が発生した場合、有効な避難訓練及び職員の防火教育の徹底とともに、近隣住民、消防機関等との連携協力体制の確保をしなければならず、夜間防火管理体制の整備充実と、避難対策は機会あるごとに防火意識の高揚に努めてまいります。

施設処遇におきましては、地域社会に根ざした福祉をより充実させる必要性があります。入所者ニーズが一段と多様化するとともに、人権やプライバシー保護に関する関心も高まり、施設内のノーマライゼーションの実現に向かい、一人一人が生きがいのある普通の生活がもためられているところであります。

複合施設である当法人は、社会情勢の変化に対応出来るよう法人の機能等を見直して、活性化を図りつつ積極的な福祉の向上へと努めなければならないと思います。

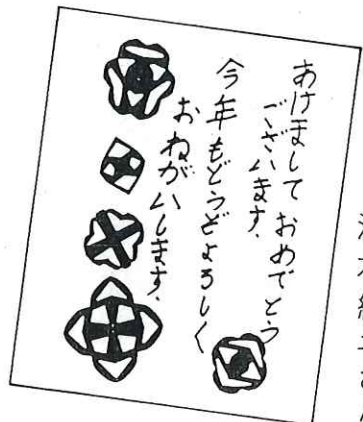
今後共、友愛会役員一同が、地域社会の福祉ニーズに密着した、福祉サービスを十分に発揮できるよう努めてまいりますので、より一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

わたしの年賀状

1989年



ふくいきみえさん (大島保育所)



沢本綾子さん (大島福祉学園)



前田恵美子さん (友愛園)



浜田和美さん (南川福祉学園)



施設の交流 友愛会文化祭

持ち味生かした発表

去る10月30日(日)、小浜市文化会館において、第6回友愛会文化祭を開催しました。

友愛会の各福祉施設が集い、舞台発表や作品展示を通して、お互いの交流を深めました。

♥ステージでは…

ハーモニカ演奏の第一人者である石川澄男さんとそのグループが特別出演、「山寺の和尚さん」などを演奏、魅了させてくれました。

次に、大島保育所は恒例の鼓隊の演奏や踊りで会場を沸かせてい

ました。また初めて取り組んだたる太鼓の演奏にも大きな拍手が送られました。

続く南川福祉学園は、若さをアピールした躍動感いっぱいの踊りと全員合奏で楽しいステージを作りました。

友愛園は、音楽クラブが登場し、お得意の演歌、息の合った演奏を披露しました。

最後に大島福祉学園が登場。ボランティアの方たちの協力をいただいた人形劇と合唱でしめくり



ました。

♥展示会場では……

各施設ごとに持ち味を生かした作品群が陳列され、即売コーナーでは、野菜やバスマット、やきもの、ぬいぐるみなどが好調な売れ行きを示しました。

若狭 ボランティア マップ-----④



小浜市(1)

若狭の中核都市である小浜市には、友愛会と交流を持つたくさんの方がおられます。今回は、団体のみなさんを紹介いたします。

友愛会を通して交流を続けているのは、関西電力小浜営業所のみなさんです。毎年プレゼントをいただき、楽しいひとときを過ごしています。また友愛会の文化祭を通して、照明の面で劇団久須夜のみなさんに援助していただいています。

大島福祉学園では、学園まつり

や生オケ大会の時に、楽団わかさのみなさんに応援して頂きました。南川福祉学園では、アマチュア無線クラブ拳闘会のみなさんに、運動会の時に協力して頂いたこともあります。

友愛園では、買物ボランティアのみなさんが、月に2～3回入所者の買物に付き添っていただいています。今ではすっかり顔馴染みになりました。夏祭りの時には、地元である口名田・中名田地区の青年団・婦人会・老人クラブ・民生委員・区長のみなさんに毎年応援していただいています。中名田

冠句会のみなさんには、冠句の指導を通して入所者と共に活動していただいています。また入所者の詩に曲をつけ、家庭的な交流を続けていただいているのは、つくし座のみなさんです。小浜市の花火大会の時には、青年会議所・連合青年団・高校生のみなさんに車椅子を押していただいています。

もっと詳しくご紹介したいのですが、紙面の都合上お許し下さい。

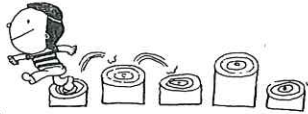
—— 次号へ ——



●つくし座との交流(友愛園)

びのわみ

大島保育所



さつまいも掘り

10月18日、大島福祉学園生とイモ掘りをしました。大きなサツマイモに子供達は、「ほくのが一番大きい」と歓声をあげたり大さわぎでした。



日常の保育から 冬の遊び

北風が吹いても子ども達はへっちゃら、天気の良い日は外に飛び出して鬼ごっこやかけっこに夢中です。かわいいほっぺをまっかにして走る姿のかわいいこと。

「子どもは風の子」その通りですね。室内ではおうちごっこ、お店屋さんごっこ、ライブマンごっこなど、ごっこ遊びに夢中です。

4月当初に比べると遊びにも発展性が見られ、その成長の様子がうかがわれます。特にこの時期室内で遊ぶ機会が多く、そのようなごっこ遊びを通して、友達同志のつながりが一段と深まり、思いやりの心が生まれ、集団としてのまとまりが出てくるようです。



消火訓練

12月8日、消防署のおじさん達を迎えて消火訓練を実施しました。実際に燃え上がる炎を見て恐がる子もいましたが、火事の恐さを少しでもわかってくれたと思います。

発表会練習

12月15日、予行練習を行ないました。それぞれの衣装をつけ嬉しそうな顔、はずかしそうな顔、いつもより気合が入り、元気に踊れ、本番が楽しみです。



びっくりばこ

～南川福祉学園の巻

朝、学園の門をくぐった時、子どもたちが元気よく「おはよう」と挨拶してくれる毎日を送り、早10年が過ぎました。

自分の身の回りにも、子どもたちの身の回りにもいろいろありましたが、嫌だなと思う事が一つあります。

園外に出た時、時折り子どもたちが意識した目で見られることです。そんな時「どうしてそんなに意識するのか」と思います。

誰にも負けることのない素直な心と澄んだ目を持つ子どもたち。私はこの10年、子どもたちの笑顔に、語りかけに何度も励まされ、勇気づけられてきました。

これから、子どもたちに負けないくらい、優しい心を持ち続けたいです。
(紙本裕美)

海とぼくらと

精神薄弱者
更生施設 大島福祉学園

暮らしの質を高める…

自治会の活性化

学園の自治会は、昭和56年に更生施設としてスタートしたと同時に誕生しました。当時は、会長・副会長・書記の3名の役員だけで、その活動も週に一度話し合いの場を持つだけの形式的なものでした。その後、目的や役割りを考えていくなかで、年々改良が加えられ、現在では各係や行事実行委員を含め約半数の人が何らかの役割りを持って活躍しています。



● 園内新聞発行 (新聞係)

自治会活動を行う目的は、望ましい対人関係を作ること、また日常生活を自分たちの手で確立して自治能力を広げるといったことです。言葉にすると簡単ですが現実には理想どおりにことは運びません。

当初は自治会議を持っても人の批判や悪口の言い合いばかりで、建設的な意見が出ませんでした。さながら社会の縮図を施設で見ているようでした。しかし回を重ねるごとに、自分たちの生活がより良くなるための意見や、守り合わなければならないことは全体に呼びかけるといった傾向もみられるようになってきました。各係においても徐々にその活動内容が充実しています。中には、その係が気に入って何年も続けている人もいます。自発的な活動には、まだまだという係もありますが、まずそ

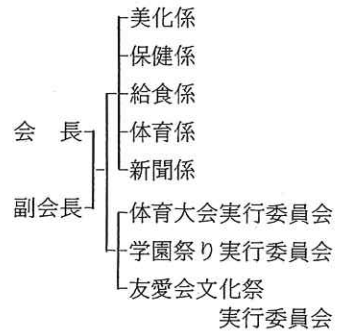


● 掃除用具の点検 (美化係)

の役割りを覚えることから始め、徐々に自主性が芽生えればと期待しています。

一方、自治会が主体となる行事を充実させるために、昨年より作業訓練で得た支給金を会費として出し合い、自主財源を持つようにもなりました。今はまだ職員の援助による部分が大ですが、50名の生活をまるごとかかえた自治会の可能性は無限です。今後どう発展していくかが楽しみです。(立井)

自治会組織図



たしの作品館

⑦ 山口さんと

カレンダー

日頃は農耕班で農作業や箱折りの仕事に精を出している健ちゃんこと山口健一さんは、土曜の午後行われる釣り版画クラブの一員で

もあり、晴れた日には学園前の防波堤でキス、アジ釣りにいどんでいます。同クラブでは5年前より版画製作を行い、健ちゃんも自分で下絵を書き、彫刻刀で丁寧に彫っています。

絵は「これは何かなあ」と聞くと、「顔や」、「あーそうか」。

自由な創作で描かれていることにより、何やら楽しいものが伝わってきます。そんな版画を集め、毎年版画カレンダーを作っていま

す。今年もできました。健ちゃん笑顔です。



くるまです少し前進!

身体障害者療護施設
……友愛園

友愛園あれこれpart12

お茶の時間

午前10時と午後3時になると、「お茶はいかがですか」という寮母さんの明るい声が聞こえてきます。そこで今回は、「お茶の時間」を紹介します。

身体の不自由な入所者は、車椅子に乗り座っている時間が長いためか、どうしても運動不足になりがちです。だから便秘は、みんなの共通の悩みなのです。その便秘対策のひとつとして、昭和61年か

らスタートしたのが「お茶の時間」です。職員がワゴン車を押して各居室をまわります。職員が介助する人、ストローで飲む人などいろいろです。お茶の時間に合わせてお菓子をみんなで食べる部屋ができるなど、10時と3時になると話し声がよく聞こえて、友愛園が明るくなります。最近はすっかり定着し、なかなか好評です。

しかし、好評だからといって便秘が解消したわけではありません。効果があるのかないのかもわからないのが現状です。3年間を振り返ると、「お茶の時間」は違った意味の効果を出してきました。当然のことですが、ひと息つける時間ができたことです。今までのように一人で飲むのもいいですが、みんなと飲むとおいしいようです。



ひと足お先に…

紅白歌合戦

昨年の12月17日に、娯楽室でカラオケ大会が開かれました。希望者が男女に別れ競い合う「紅白歌合戦」です。この日は16名の入所者が参加し、わきあいあいの雰囲気の中にも、「負けたくない」という競争心が感じられました。みんな得意な歌だけあって、なかなか接戦となりました。審査員となった職員が、頭を悩ませた結果同点となり、最後はじゃんけんで白組に軍配が上がりました。



スピーディ 広田さん

大阪市出身の広田嘉美江さんを紹介します。

広田さんは、当たり前ですが大阪弁で話します。その話がとても早いのです。こちらから口を挟む暇がない程です。気が付いたら、

話はもう終わっているのです。友愛園で早口にかけては、広田さんの右に出る人はいません。また何事にも決断が早く、即行動に移す人です。やらなければいけないことは、決して後に延ばしません。その反面とても照れ屋さんです。もしかしたら、照れ隠しに早く話すのかもしれませんが。

できることなら、もう少しゆっ

くりみんなと話して下さい。



キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

美浜

発電所を訪問 電気のしくみを学ぶ

11月10日、職業班(学卒児)の園児10名は、美浜町にある関西電力美浜原子力発電所のPRセンターへ園外実習に出かけました。
今回の園外実習は、日頃使っている“電気”について学習しようと

いうことで行われました。
当日は、朝から雨と風が強く、途中の海岸線も波が高く、あいにくの天気でしたが、子どもたちは久しぶりの園外実習ということで、バスの中はとてもにぎやかでした。



約1時間で到着。目の前にドーム型の原子炉が見えると、子どもたちは驚いた様子でした。
PRセンターは、発電所へ通じる橋のたもとにあり、中には原子力発電の仕組みについて模型やビデオなどを使ってわ

かりやすく説明され、子どもたちは、ひとつずつボタンを押しては、画面をくい入るように見ていました。

また2階には、原子力についてゲームをしながら学ぶコーナーもあり、一見すると宇宙船を思わせるようなシュミレーションなど時間のたつのも忘れて楽しんでいました。

“電気”について、今回の実習を通してどの程度理解してくれたかわかりませんが、今後も園外実習を行う中で、いろいろなことを学んでいけたらと思います。



ぺったんぺったん もちつき大会

毎年恒例になっている“もちつき大会”が去る12月3日、関西電力労組大飯支部青年部の皆さんの協力のもと行われました。

園児たちは、かわるがわるに重いキネを持つては“ぺったん、ぺったん”とみんなのかけ声に合わせてもちつきをしました。できたおもちは、あんこやきな粉をつけ、さっそく口の中へ。みんなとてもおいしそうに食べていました。



余暇の指導②

Bグループ

Bグループには、学齢児の年少組を中心に個性豊かな8人の仲間がいます。

歌や踊りの大好きな子、物まねの上手な子、ボール遊びが得意な子、食べる時突然生き生きしてくる子など、いろいろ特技は違いますが、グループ活動になると不思議とまとまってくれます。

現在は、製作活動や体力作り、リズム遊びなどを通して、より仲

間意識を高めることを目的に余暇指導を行っています。
これからも、いつも明るく元気いっぱいグループにしていきたいと思います。



友愛園のかけはし

(10月～12月分)

◆友愛会

友愛会文化祭

文化祭開催の折には、たくさんの方々のご協力をいただき、ありがとうございました。

歳末慰问

各施設の入所者に対し、関係各市町村、共同募金会、NHK等より、暖かい浄材をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

◆大島福祉学園

奉仕・交流

中尾雍子さん
荒木康衣さん
つばさの会のみなさん
大飯町赤十字奉仕団のみなさん
大飯中学校バトミントン部のみなさん
関西電力小浜営業所さん
大飯町ボランティアセンターのみなさん

寄付

菊花……名田庄花き生産組合さん
卵……中塚寛さん
りんご……山下薬局さん
りんご……唐壺呂さん
オルガン……木橋正昭さん
冷凍冷蔵庫・洗濯機
……関西電力労働組合大飯支部さん
球根……日曜大工センターアサヒさん
ケーキ……西谷征治さん

◆友愛園

奉仕・交流

買物ボランティアのみなさん
(他2回)

東野手芸店さん (他2回)
藤井信さん
岩本エイさん (他2回)
原真英さん
猿橋統流子さん (他1回)
中名田冠句会のみなさん
(他2回)

つくし座のみなさん (他2回)
関西電力小浜営業所さん
美浜町民生委員のみなさん
小浜市連合婦人会のみなさん
中名田婦人会のみなさん
山本義道さん
寺井藤一朗さん

寄付

空気入……田中正夫さん
文房具……大塚ぎんさん
お菓子……美浜町民生委員のみなさん
寄付金……小浜市農協婦人部のみなさん
寄付金……六反田地蔵講さん
寄付金……石橋和彦さん

◆南川福祉学園

奉仕・交流

つばさの会さん
三方町16ミリ映画を愛する会さん
関西電力小浜営業所さん

寄付

衣類……島津さん
衣類……小畑保さん
タオル等……NTT婦人部さん
洗濯機・テレビ
……関西電力労組大飯支部青年部さん
球根……日曜大工センターアサヒさん
衣類……山本美子さん
寄付金……小浜市農協婦人部さん
寄付金……名田庄村議会議員一同さん



いつもありがとう!!



♥採用

新しく次の方が採用されました。
よろしく願いいたします。

四方好和さん (友愛園)

以上11月1日

編集後記

あけまして おめでとうございます。

「海清」第13号をお届け致します。

障害者の福祉について、施設ケアか在宅ケアかと問われる中で、「普通に」暮らすための拠点として、グループホームとサービスハウスが今後の方向として出てきました。確かに、「施設」の生活は地域との接触は少ない。集団で画一的な処遇をする傾向はあります。また、職員の常識で判断されることも多いようです。これらの反省をふまえて、今後は「普通に」近づける問いかけをしながら、施設処遇のより充実を図らねばならないと思います。(谷口)

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

福井県大飯郡大飯町大島45-6
大島福祉学園内
広報「海清」編集部

☎919-21 ☎0770(7)0185